



# 環境配慮報告書 2020

東京エレクトロン宮城株式会社



# 環境マネジメントシステム

## 環境方針

東京エレクトロングループでは ISO14001 を統合し、一括認証しています。

以下に東京エレクトロングループの環境方針を示します。

### ◆ 東京エレクトロングループ 環境方針 ◆

#### ① 環境目標と継続的改善

環境目標を設定し、製品ライフサイクルの環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

#### ② 法令等の遵守

環境関連の法令を遵守するだけでなく、環境問題を幅広く調査し、自主基準などを制定します。

#### ③ 製品での環境貢献

最先端技術を駆使し、環境適合型製品を開発します。顧客や取引先と連携・協力し、環境問題の未然防止と改善に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。

#### ④ 事業活動での環境負荷低減

事業活動における環境負荷を定量的に把握し、その低減を含む環境活動を従業員と一体となって、積極的かつ継続的におこない、汚染の予防と環境保護に努めます。

#### ⑤ 社会との連携・協力

ステークホルダーとの共通理解のもと、連携・協力を推進し、その期待に適切に対応していきます。

2016年7月1日改訂

## 第三者保証

環境情報のデータ管理の精度向上や報告内容の信頼性向上のため、環境データ

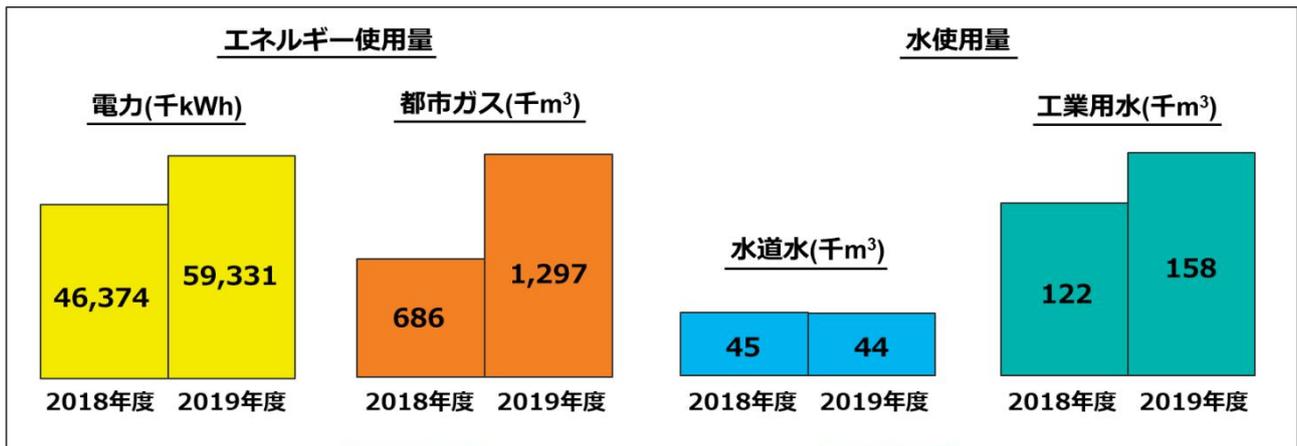
(エネルギー起源 CO2 排出量、水使用量) について、第三者による保証を受けて

います。

# 東京エレクトロン宮城（株）の環境実績データの報告

東京エレクトロン宮城（株）の2019年度の環境負荷・環境配慮についてご報告いたします。

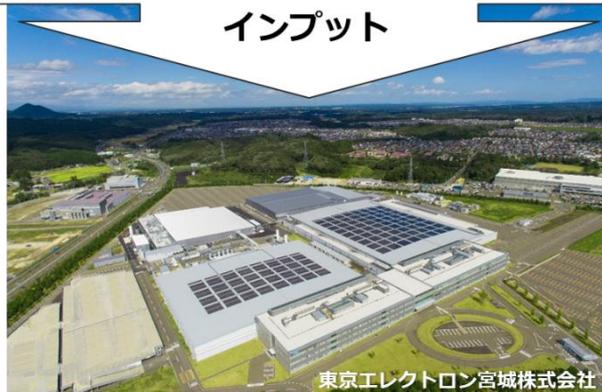
2019年は第二開発棟(面積 11,600 m<sup>2</sup>)の本格稼働(2018年10月竣工)に伴い、開発用装置と用力設備が増設されました。その結果、電力の使用量は27.9%増加し、工業用水の使用量は29.5%増加しました。日中の受電電力削減(ピークカット)を目的としてガス発電機の稼働をおこなったために都市ガスの使用量は89.1%増加しました。事業規模拡大により使用エネルギーの原油換算量は35.2%増加しましたが、開発装置台数を増加させることができたためにエネルギーの使用に係る原単位の増加は11.0%に抑えることができました。引き続き効率的な生産と省エネを目指します。



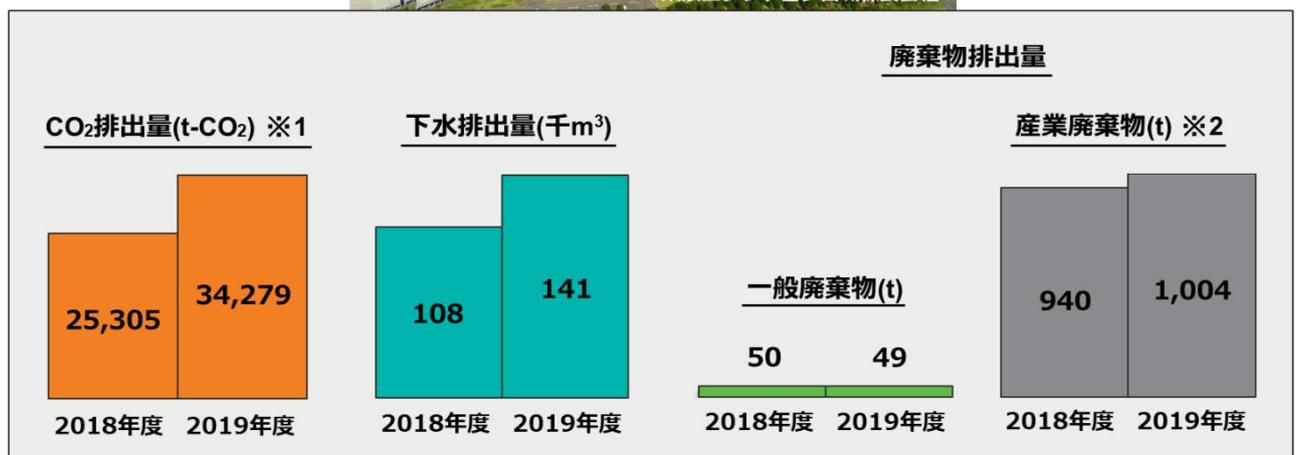
エネルギー原油換算量(kℓ)



## インプット



エネルギー原単位



## アウトプット

※1 エネルギー起源の排出量

※2 リサイクル率99.4%

産業廃棄物につきましては総排出量 1004t で 6.8%増加しました。装置入替などに伴う金属製廃棄物の増加により重量が増しました。リサイクル率は 99.4%でした。今後も環境配慮を継続して実践いたします。

## 環境活動

2019 年も『みやぎの里山林協働再生支援事業』に参画し、大和町宮床の『東京エレクトロンの森』整備をおこないました。植樹の他、散策路の整備や高枝切り、崩落地修復、巣箱の取り付けを実施しました。次年度以降も森づくりを継続いたします。



食堂から排出される廃油をバイオディーゼル燃料（BDF）とし、それを用いて発電をおこないました。環境活動の一環として食堂廃油から電気を作る取り組みをおこなっています。

ヤギによる事業所の除草も継続いたします。



東京エレクトロン宮城株式会社 環境安全推進室  
〒981-3629 宮城県 黒川郡 大和町 テクノヒルズ 1 番  
Tel : 022-346-3111 URL : <https://www.tel.co.jp/about/locations/tml.html>  
発行 : 2020 年 8 月